

令和2年度の重点課題

- 感染症対策のため、運動する機会が減少している期間があった。また、密を避けるように体育の学習内容の変更や見直しを行ったが、体力低下や運動意欲の低下をしている児童が増加した。
- 校内実施体力テストの結果では、握力、反復横跳び、長座体前屈が前年度の個人記録平均値を下回っていた。
- 男子は、「50m走」「反復横跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子は、「立幅跳び」「長座体前屈」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。高学年になるにつれて平均値が低下する傾向がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 感染症対策を校内で共有し、密にならないように間隔を開けるように取組を行った。具体的には、体育館にビニールテープを貼ったり、運動場にマークを打ち込んだりして、安全に運動ができる環境を整えた。
- 筋力や運動意欲を高めるために、「須波小ロコモ体そう」を設定し、各学級で取り組むことができた。保護者と連携し、家庭学習でも取り組んだ学年もあった。
- ICTを活用して各学級でmeetで繋いで、体育朝会を実施し、ラジオ体操や柔軟運動など行うことができた。
- 特に走力を高めるために、学期に1回「陸上教室」を計画・実施した。また、児童に振り返りを行わせることを通じて、自己評価や次時の見直しを持たせることができた。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.13		27.50	39.88		9.28	158.13	20.88		第5学年	17.71		39.14	43.14		8.91	169.29	17.00	

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.13		27.50	39.88		9.28	158.13	20.88		第5学年	17.71		39.14	43.14		8.91	169.29	17.00	

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	37.5	50.0	0.0	12.5	第5学年	28.57	71.43	0.00	0.00

学校独自の意識調査

- (校内陸上教室の振り返りアンケート 肯定的な評価をした児童の割合)
- 陸上教室は楽しかったですか。 93. 3%(14/15人)
 - 安全に気を付けて取り組むことができましたか。 100%(15/15人)
 - また陸上教室をしてみたいと思いますか。 60. 0%(9/15人)

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間通して準備運動(5分~10分)の中に、サーキットトレーニングや縄跳びを取り入れる。
 - ・雲梯・鉄棒・スキップ・もも上げ・柔軟運動
 - ・全学年統一の「なわとびカード」の使用
- ボールを投げる運動を定期的に行うなど、ボールを投げる機会を増やす。
- 個人目標を持たせたり、ゲーム形式で楽しみながら運動させたり、授業改善を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・大休憩や昼休憩に外遊びを行う児童が更に増えるように、体育委員会が放送で呼びかけを行う。
- ・「外遊びをしよう」という目標を児童会の月目標に設定して、運動意欲を高めるようにする。
- ・週に1回、体育朝会を設定し、柔軟運動や走力を高める運動を実施する。
- ・道徳科と関連させ、最後まであきらめない心や基本的な生活習慣など考えさせ、実践させる。

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることがきらいと答える児童の割合が12.5%である。
 - ・好きと答える児童が87.5%で、運動に関心がある児童が多い。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が0%である。

体力面での課題

- 男子
 - ・「長座体前屈」「反復横跳び」「ボール投げ」が、平均記録値未満である。
- 女子
 - ・平均記録値未満の項目はないが、「長座体前屈」の平均記録値が低い

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが好き・やや好きと答える児童の割合を90%にする。
- 1日の活動時間が30分未満の児童を0%にする。
- 「長座体前屈」「反復横とび」「ボール投げ」を県平均値以上にする。
- ICTを体育科授業で活用できる児童を100%にする。
- 児童の体力について保護者との連携を100%にする。